

# 高齢者の社会生活における諸問題

---健康・経済・家族及び地域社会生活での現状---

DF技術部会  
〈医療懇話会〉

☆幸福で安定した生活は、健康生活や経済生活、  
家族生活や地域社会での生活が適切に満たす  
ものでなければならない。

☆今回は、高齢者の置かれた生活の諸状況、及び  
諸外国と比較しながら日本の高齢者の特徴を  
示す。

# 1:高齡者の健康状況

- (1)入院率
- (2)在宅の有訴者と自覚症状
- (3)通院状況と疾病構造
- (4)日常生活への影響
- (5)健康状態の国際比較

# (1)入院率

\* 病院、診療所、高齢者施設に入院・入所者

~35	2~3人/千人
35~44	4.8
45~54	8.1
55~64	15.2
65~74	28.1
75~84	43.5
85以上	72.0
<b>&lt;65以上&gt;</b>	<b>36.0</b>

## (2)在宅の有訴者と自覚症状

### \*有訴者(病気やけがで体調の悪さを自覚)

全年齢	289人/千人
65歳以上	509

### \*自覚症状(全年齢平均の2倍以上の有訴者率)

腰痛(171)	関節痛(145)	霞目(119)
手足の動き(87)	便秘(72)	しびれ(71)
動悸(62)	耳鳴り(59)	頻尿(56)
息切れ(55)	たん(53)	不眠(47)
目の痛み(44)	めまい(38)	

### \*他方

- ・婦人科的症状は見られない(つわり・月経不順・おりもの)
- ・高齢者で低い症状(切り傷・やけど・嘔吐・発熱)

# (3)通院状況と疾病構造

## \* 通院者率(在宅者のうち通院している割合)

全年齢平均	285人/千人
75~84	664
65歳以上	612

[平均を下回る疾病は、アレルギー性鼻炎、虫歯、婦人科の病気]

## \* 高齢者の傷病(全年齢平均の3倍以上を示すもの)

高血圧(221)	腰痛・肩こり(132)	目の病気(102)
神経痛(58)	関節炎(55)	狭心症・MI(43)
糖尿病(40)	脳卒中(24)	低血圧(18)

- 前立腺肥大症:全年齢平均の7.4倍
- 脳卒中:全年齢平均の5.2倍

# (4) 日常生活への影響

☆65歳以上の半数以上が何らかの自覚症状を持ち、通院している

## \* 日常生活への影響

全年齢平均	83人/千人
65歳以上	217
70歳以上	253

## \* 生活領域別

### ・日常生活動作

全年齢平均(21)、65歳↑(70)、70歳↑(87)

### ・外出の時間・距離の制限

全年齢平均(27)、65歳↑(110)、70歳↑(141)

### ・仕事・作業の時間・作業量の制限

全年齢平均(30)、65歳↑(68)、70歳↑(75)

# (5)健康状態の国際比較

## ☆各国の老人の健康比較

-----日本・米国・ドイツ・韓国----- (60歳以上)

### \*健康度自己評価

#### ・健康である

日本(51%)、米国(65%)、ドイツ(34%)、韓国(28%)

#### ・健康である、病気ではない

日本(90%)、米国(88%)、ドイツ(90%)、韓国(58%)

#### ・健康にいつも不安である

日本(16%)、米国(10%)、ドイツ(11%)、韓国(34%)

#### ・時々不安と思う

日本(52%)、米国(27%)、ドイツ(38%)、韓国(52%)

## 2:高齡者の経済状況

- (1)収入源の国際比較
- (2)所得額
- (3)経済状態の国際比較

# (1)収入源の国際比較

## \* 公的年金

日本(84%),米国(83%),ドイツ(84%),タイ(9%),韓国(4%)

・子からの援助:タイ(75%),韓国(71%)

・日本の1980年代は65%

## \* 主な収入源

公的年金:

日本(57%),米国(55%),ドイツ(77%),タイ(2%),韓国(1%)

就業:

日本(21%),米国(15%)

その他:

米国:私的年金(13%),財産(9%)

ドイツ:私的年金(10%)

子の援助:タイ(53%),韓国(56%)

## (2)所得額①

### \* 世帯主の年齢からみた所得額

平均所得金額	660万円/世帯
29歳以下	365
30-39歳	598
40-49歳	748
50-59歳	850
60-69歳	642
70歳以上	473
65歳以上	546

## (2)所得額②

### \* 65歳以上の者のいる世帯の所得額

平均所得金額	653万円/世帯
単身世帯	199
核家族世帯	468
三世代世帯	1,048

## (2)所得額③

### \* 高齢者世帯の所得額

「高齢者世帯とは、男65歳以上、女60歳以上の者のみでの構成、又は、これに18歳未満が加わった世帯」

- 平均所得---333万円/世帯
- 所得内訳

公的年金・恩給	50%(196万円)
稼働所得	29%
家賃・地代	6%

# (3)経済状態の国際比較

## ☆各国の老人の経済比較

### \* 経済的に困っていない

ドイツ(63%),タイ(46%),米国(44%),日本(41%),韓国(7%)

### \* 男女別の困窮度

[日本:男>女] [他の国:男<女]

(日本の場合)

- 単身世帯高齢者の割合が低い
- 女性高齢者の多くは、3世代世帯に居住
- 他国では、単身世帯に住む高齢者の割合が高く、その多数は女性

# 3:高齡者の家族環境

- (1) 家族類型の国際比較
- (2) 世帯構造の変化
- (3) 家族関係の国際比較

# (1) 家族類型の国際比較①

## \* 単身世帯に住む高齢者の割合

日本(8%), タイ(5%), 韓国(14%), 米国(40%), ドイツ(39%)

## \* 夫婦のみの世帯

日本(31%), タイ(7%), 韓国(29%), 米国(35%), ドイツ(44%)

## \* 夫婦と未婚の子の核家族世帯

日本(14%), タイ(15%), 韓国(11%), 米国(9%), ドイツ(7%)

## \* 三世代世帯

日本(29%), タイ(43%), 韓国(35%), 米国(2%), ドイツ(2%)

# (1) 家族類型の国際比較②

## ☆ 配偶関係別家族類型

### \* 配偶者と死別して一人暮らし

日本(23%), タイ(5%), 韓国(24%), 米国(70%), ドイツ(70%)

- 配偶者の死別後、子と同居(日本、韓国)
- 欧米諸国は子と同居の習慣がない

## (2)世帯構造の変化①

日本や韓国の高齢者は、欧米諸国とは異なり、三世代世帯に住むものが多い。病気や経済的にも十分ではない高齢者にとっては、基本的な家族の助け合いの場であり、生活の支えと共に心の安らぎを得てきた。

### \* 全世帯の世帯構造別割合

・単身世帯	25%
・核家族世帯	58%
・三世代世帯	11%
・その他	6%

## (2)世帯構造の変化②

### \* 65歳以上を含む世帯構造の割合

単身世帯	18%
核家族世帯	40%
三世代世帯	30%
その他	12%

### \* 高齢者を含む世帯の構造は急速に変化(昭和50年との比較)

単身世帯	9⇒18%
核家族世帯	23⇒40%
三世代世帯	54⇒30%

子や孫に囲まれて暮らす日本の高齢者の伝統的な姿は、大都市を中心に急速に消えていく状況である。

家族からの援助に欠ける高齢者の増加と人口の高齢化により、社会として高齢者福祉ニーズは加速度的に増大

# (3) 家族関係の国際比較

## <子供や孫との付き合い方>

\*いつも一緒に生活できるのが良い

日本(54%), タイ(5%), 韓国(61%), 米国(3%), ドイツ(15%)

\*時々会って会話や食事(別居交流)

日本(38%), 米国(73%), ドイツ(55%)

\*別居している子供との面会頻度(週一回以上)

日本(31%), 韓国(23%), 米国(62%), ドイツ(61%)

\*子供との時間的距離1時間以内(一番近い子供)

日本(67%), 韓国(60%), 米国(81%), ドイツ(79%)

# 4:高齢者の活動状況

- (1)生活時間の特徴
- (2)余暇活動
- (3)地域社会活動の国際比較
- (4)地域社会への参加のニーズ

# (1)生活時間の特徴

## \* 一次活動(睡眠・食事)

国民平均	9.9時間
65-69歳	10.8時間
70歳以上	11.7時間

## \* 二次活動(仕事・学業)

国民平均	6.7時間
65-69歳	4.5時間
70歳以上	2.6時間

## \* 三次活動(余暇)

国民平均	4.6時間
65-69歳	6.1時間
70歳以上	7.3時間(通院、TV・新聞・雑誌等)

## (2) 余暇活動

### \* TV・ラジオ・新聞・雑誌 (最も多い)

65-69歳: 男(90%) 女(88%)

70歳以上 男(89%) 女(86%)

### \* 趣味・娯楽 (2番目)

65-69歳: 男(26%) 女(21%)

70歳以上 男(26%) 女(18%)

### \* 3番目 (各々15%)

男(スポーツ) 女(交際)

### \* 社会奉仕

65-69歳: 男(3.3%) 女(1.8%)

70歳以上 男(2.6%) 女(1.3%)

☆ 高齢者は、日曜日も平日と変わりのない平板な生活をしているのが特徴

# (3)地域社会活動の国際比較

## ☆地域のグループ活動への参加状況

### \* 宗教活動

日本(18%), 韓国(40%), 米国(74%), ドイツ(39%)

### \* 茶話会・パーティ等社交的集い

日本(15%), 韓国(29%), 米国(60%), ドイツ(63%)

### \* 地域ボランティア活動

日本(27%), 韓国(28%), 米国(39%), ドイツ(21%)

### \* 高齢者クラブ

日本(24%), 韓国(31%), 米国(35%), ドイツ(20%)

日本の高齢者は、宗教活動や社交的な集いでは低調であるが、地域ボランティア活動やグループ活動では活発さが増した

## (4)地域社会への参加のニーズ

☆参加ニーズを持ちながらも機会に恵まれない場合が多い。

☆このような活動の場は、自身で作りだすことが望ましいが、適切に援助するのも高齢者福祉の課題である。

☆子と別居する高齢者が急増している日本では、高齢者が生き生きと心身ともに自立した生活を送る援助が極めて重要となっている。

# 5:高齢者の介護の実態

(1)要介護者数

(2)介護の内容と時間

(3)要介護高齢者のいる世帯の構造

# (1)要介護者数①

## ☆6種の日常生活動作

[洗面・着替え・食事・排泄・入浴・歩行]

### \* 1つ以上に介護を要する要介護者

- ・要介護数(111万人)      65歳以上(86万人)  
  寝たきり(33万人)      65歳以上(28万人)
- ・ 65歳以上在宅要介護者の身体状況
  - まったく寝たきり      (13万人)
  - ほとんど寝たきり      (15万人)
  - 寝たり起きたり      (40万人)
  - その他      (18万人)

# (1)要介護者数②

## \* 要介護者の高齢人口に占める割合

・在宅	49/人口1000人
・特別養護	12
・保健施設	6
・病院・診療所	16
・全体	83人

## (2) 介護の内容と時間①

### \* 65歳以上の在宅要介護者の介護内容

洗面	一部(27%)	全部(25%)
着替え	一部(34%)	全部(29%)
食事	一部(33%)	全部(23%)
排泄	一部(25%)	全部(28%)
入浴	一部(46%)	全部(36%)
歩行	一部(47%)	全部(32%)

## (2) 介護の内容と時間②

### \* 6種の日常生活動作における介護の必要について

・1つの介護	25%	・2つの介護	11%
・3つの介護	8%	・4つの介護	7%
・5つの介護	7%	・6つの介護	42%

### \* 寝たきり期間

3年以上	(49%)
1以上3年未満	(23%)
6月以上1年未満	(13%)
1月以上6月未満	(12%)
1月未満	( 3%)

☆全体の70%以上が1年以上の寝たきり

# (3) 要介護高齢者のいる世帯の構造

## \* 60歳以上の在宅要介護者世帯(63万世帯)

### <世帯構造>

単身世帯	8%
核家族世帯	43%(夫婦のみ世帯27%)
3世代世帯	27%
その他	22%

### <寝たきり高齢者>

単身世帯	7%
核家族世帯	36%(夫婦のみ世帯25%)
3世代世帯	31%
その他	26%